

(大久保1丁目・3丁目、本大久保1丁目～3丁目、藤崎5丁目～7丁目、泉町1丁目、鷺沼台2丁目)

1. 地区の概況

【位置】
市の中央に位置し、北を船橋市との市境に接している。

【地形・地勢】
地区一帯はなだらかな台地に覆われているが、盛土地・切土地などの人工改変地も複数箇所分布し、住宅団地や大規模公園等に利用されている。江戸期の新田開発により集落が形成された歴史を持ち、大久保小学校前を通過する東金御成街道(県道69号)はかつて人の往来や物資輸送が盛んであった。また、京成大久保駅から北上し大学や病院に至る道路周辺は、早くから商店街が発展し、津田沼駅、新津田沼駅周辺が再開発されるまでは市内でも有数の賑わいを見せていた。現在、地区北東部に隣接する大久保東地区及び船橋市には日本大学・東邦大学等の文教施設が立地し、京成大久保駅周辺は学生の街として中小規模の商店、飲食店、娯楽施設等が集積している。京成大久保駅南側には中央公園が立地し、本大久保2・3丁目には木造住宅が密集している。

【交通】
地区内を京成本線が横断し、京成大久保駅が立地する。同駅の1日の平均乗降人員は29,107人である。

【人口・建物等】
人口・世帯数ともに16地区中で2番目に多く、人口密度も高い。年齢別の人口分布は、市全体と同様の分布となっており、老年人口の地区人口に占める割合は22.8%で、市平均よりやや低い。
地区内の建物棟数は4,328棟である。建物密集度3,355棟/km²は16地区中で最も多い。また、木造建物の割合も大きい。
昭和55年以前の建物の割合は27.4%で、市平均を上回る。

【地区内の施設等】
大久保小学校が第一避難所として指定されており、その他に4箇所(計5箇所)が一時避難場所として指定されている。補助避難所として、杉の子子ども園、私立みのりつくし子ども園、市民ホール(プラッツ習志野内)、中央公民館(プラッツ習志野内)が指定されている。また、福祉避難所として、障害福祉サービス事業所希望の虹レインボー学園が指定されている。
防災倉庫は大久保小学校に設置されている。また、非常用給水施設として、自家発電付井戸が本大久保1丁目児童遊園に設置されている。
自主防災組織は26組織結成されており、加入世帯も多い。

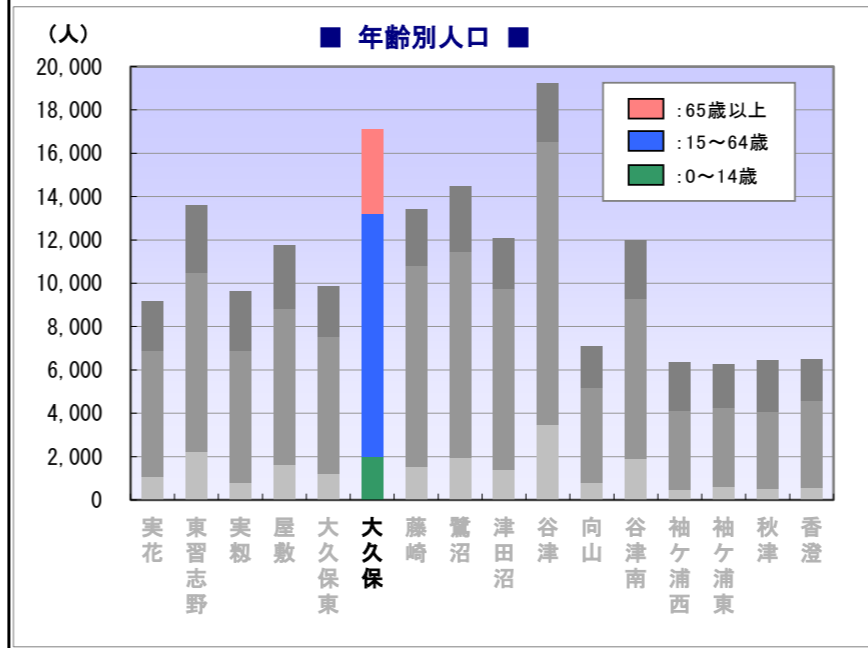
2. 位置図



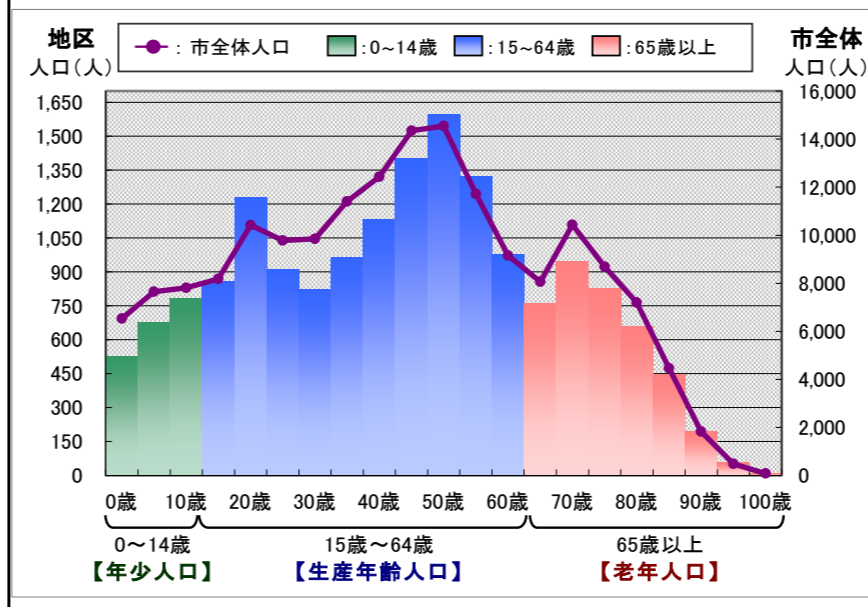
3. 基本指標

	地区内	市全域
人口	17,099 人	175,065 人
(内訳)	-	-
0歳～14歳	1,984 人	21,998 人
15歳～64歳	11,214 人	111,846 人
65歳～	3,902 人	41,221 人
老年人口割合	22.8 %	23.5 %
世帯数	8,098 世帯	83,137 世帯
世帯当り人口	2.11 人	2.11 人
地区面積	1.29 km ²	20.96 km ²
人口密度	13,254 人/km ²	8,351 人/km ²

<年齢別人口(他地区との比較)>



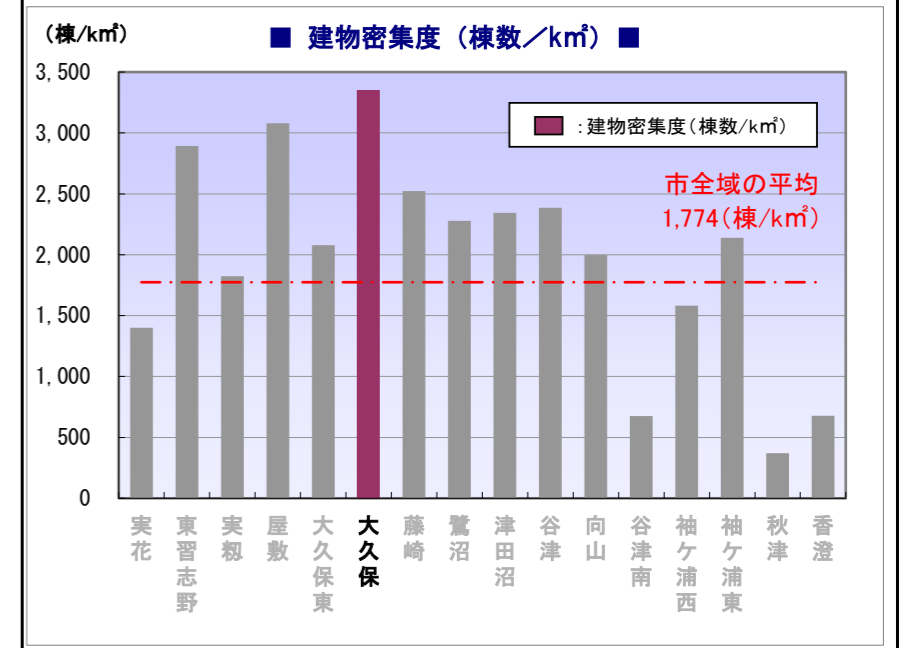
<年齢別人口分布>



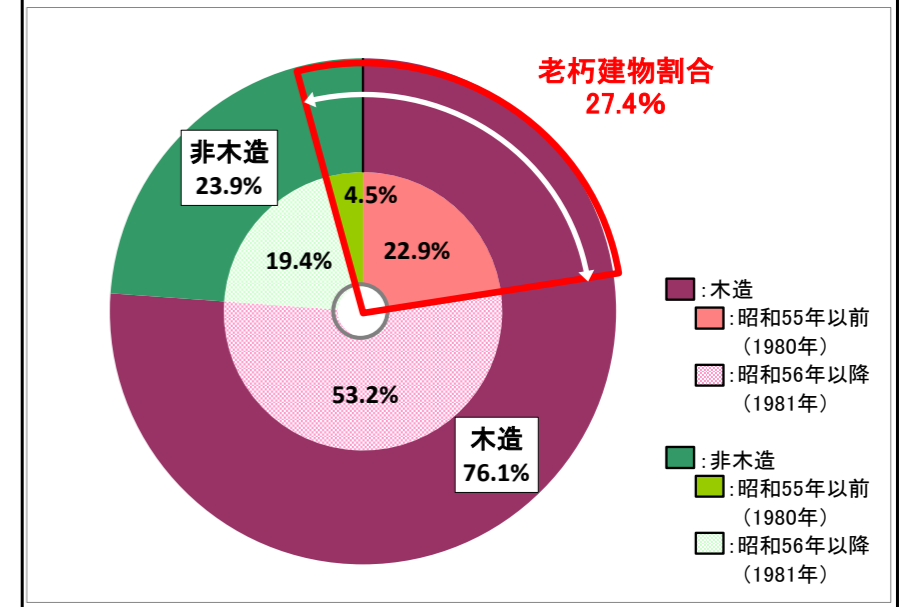
4. 建物指標

	構造	建築年	地区内	市全域
構造・建築年別建物棟数	木造	～昭和55年	993 棟	7,520 棟
		昭和56年～	2,302 棟	19,915 棟
		小計	3,295 棟	27,435 棟
	非木造	～昭和55年	193 棟	1,708 棟
		昭和56年～	840 棟	8,052 棟
		小計	1,033 棟	9,760 棟
合計			4,328 棟	37,195 棟
建物密集度			3,355 棟/km ²	1,774 棟/km ²
老朽建物割合			27.4 %	24.8 %

<建物密集度(他地区との比較)>



<建物比率>



5. 地区対策支部

設置場所	住所	設置予定場所
大久保小学校	藤崎6丁目9番28号	1階 P T A会議室

6. 避難施設

種類	施設名称	屋外面積 (㎡)	屋外収容人員(人)	屋内面積 (㎡)	屋内収容人員(約人)
一時避難場所 (グラウンド等)	大久保小学校	14,992㎡	14,992人		
	富士見公園及び本大久保2丁目2号公園	4,702㎡	4,702人		
	藤崎森林公園	41,500㎡	41,500人		
	森林公園	15,854㎡	15,854人		
	かもめ公園	3,173㎡	3,173人		
第一避難所 (体育館等)	大久保小学校			875㎡	530人
補助避難所	杉の子こども園			734㎡	440人
	私立みのりつくしこども園			1,518㎡	920人
	市民ホール (プラッツ習志野内)			703㎡	420人
	中央公民館 (プラッツ習志野内)			1,897㎡	1,140人
福祉避難所	なし				

※ 一時避難場所は敷地面積すべてを記載しています。

7. 高齢者福祉施設

施設名	施設名
基本動作特化型リハビリデイサービスAction+大久保店	
グループホームつどい「本大久保」	

8. 防災倉庫・非常用給水施設・AED設置場所

種類	施設名	住所
防災倉庫	大久保小学校	藤崎6丁目9番28号
給水施設	本大久保1丁目児童遊園	本大久保1丁目18番
AED設置場所	大久保小学校	藤崎6丁目9番28号
AED設置場所	藤崎出張所	藤崎6丁目20番11号
AED設置場所	プラッツ習志野北館	本大久保3丁目8番19号
AED設置場所	杉の子こども園	本大久保2丁目3番15号
AED設置場所	中央図書館(プラッツ習志野)	本大久保3丁目8番19号

9. 消防・警察・医療機関

種類	施設名
消防署・出張所 【消防団】	東消防署 藤崎出張所
	なし
警察・交番	なし
病院・診療所	青木眼科
	大久保耳鼻咽喉科医院
	栗原医院
	豊崎循環器内科クリニック
	ひらの医院
	細川医院
	松信ウィメンズクリニック・こどもクリニック
吉岡医院	

10. 自主防災組織

組織数	加入世帯数
26	4,096

11. その他防災施設

種類	地区内	習志野市全域
防災行政無線 (スピーカー)	4 箇所	49 箇所
ヘリポート 臨時離発着場	0 箇所	13 箇所
消防水利	141 箇所	2,191 箇所

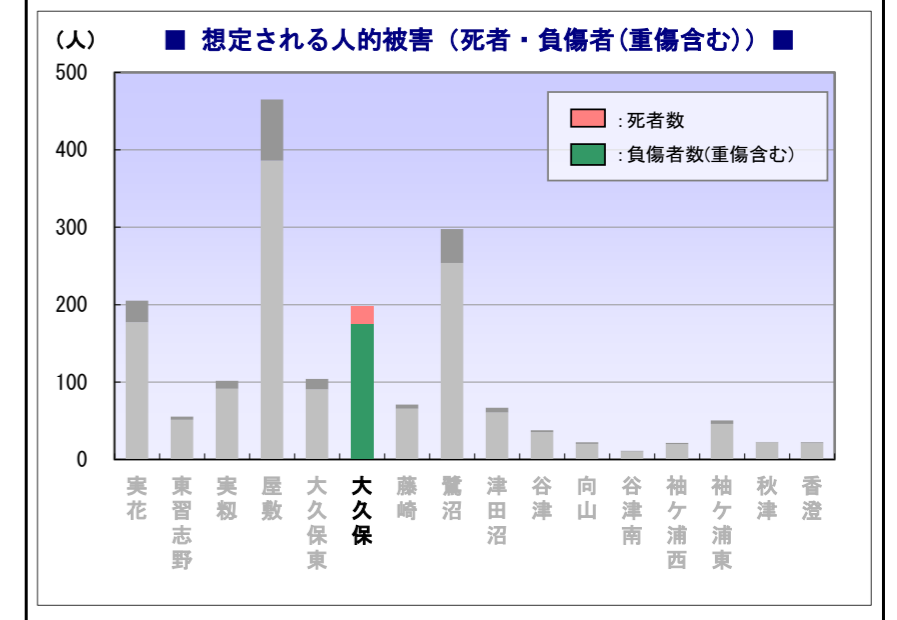
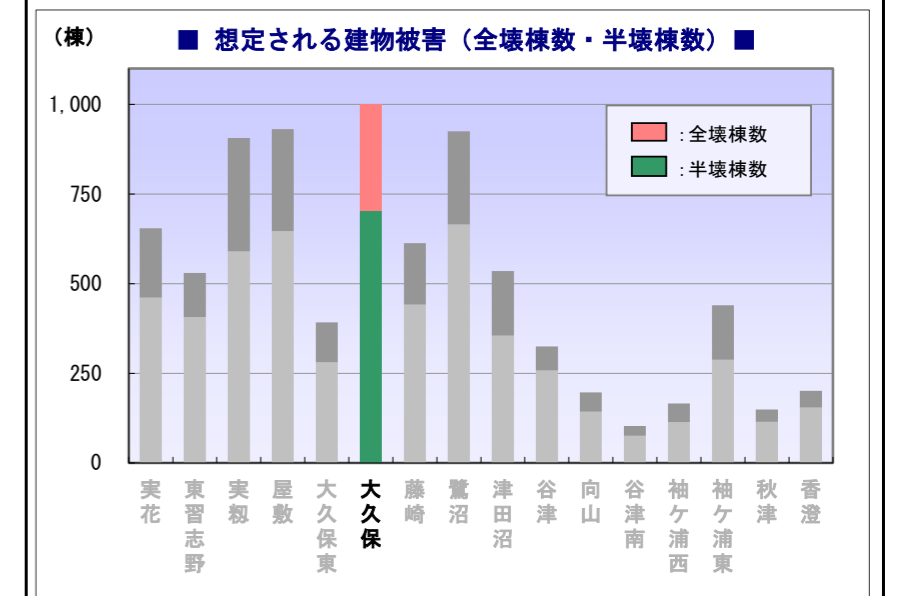
12. 土砂災害

種類	地区内	習志野市全域
土砂災害特別警戒区域 (急傾斜地の崩壊)	1 箇所	34 箇所
土砂災害警戒区域 (急傾斜地の崩壊)	1 箇所	36 箇所
急傾斜地崩壊危険区域	0 箇所	5 箇所

13. 各種災害被害想定結果

被害想定項目	被害数値 (当該地区)	被害数値 (市全域)
建物被害【全壊】(棟)	298棟	2,371棟
建物被害【半壊】(棟)	703棟	5,697棟
建物全半壊率(%)	23.1%	21.7%
火災被害【焼失棟数】(棟)	270棟	2,756棟
死者(人)	22人	226人
負傷者【重傷含む】(人)	175人	1,527人
避難所生活者数(人)	4,028人	28,628人
河川はん濫影響建物棟数(棟)	0棟	5,532棟
内水はん濫影響建物棟数(棟)	222棟	6,975棟

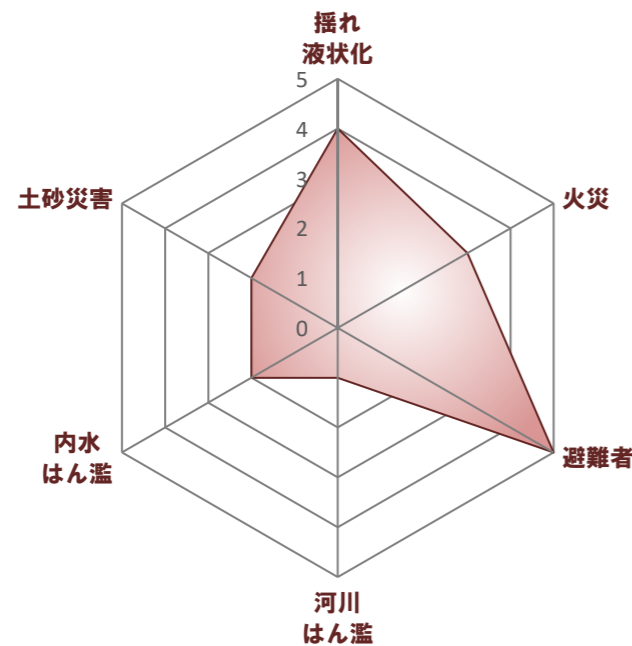
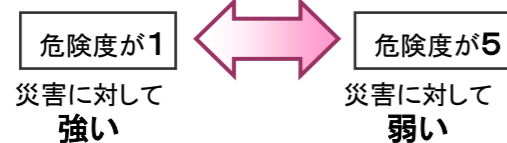
※ 地震被害の想定地震は、「千葉県北西部直下地震(M7.3)」です。



14. 各種災害の評価

評価項目		数値	危険度
地震災害	揺れ・液状化	揺れ・液状化による建物全半壊率(%) ※全半壊棟数/地区内の建物の総数	23.1%
	火災	火災・延焼による焼失率(%) ※焼失棟数/地区内の建物の総数	6.2%
	避難者	避難人口率(%) ※避難所生活者数/地区の総人口	23.6%
風水害	河川はん濫	浸水する可能性がある建物棟数(棟)	0棟
	内水はん濫	浸水する可能性がある建物棟数(棟)	222棟
	土砂災害	土砂災害の影響を受ける可能性がある建物棟数(棟)	6棟

＜地区の災害に対する強さ＞



＜表・グラフの見方＞

被害想定調査の主要な結果に基づいて、各項目ごとに地区の災害特性を5段階の危険度で表したものです。「5」が最も災害の危険度が高いことを表しています。したがって、グラフの六角形の面積が広いほど、地域が総合的に「災害に弱い」ことを示しています。

15. 地区の災害特性

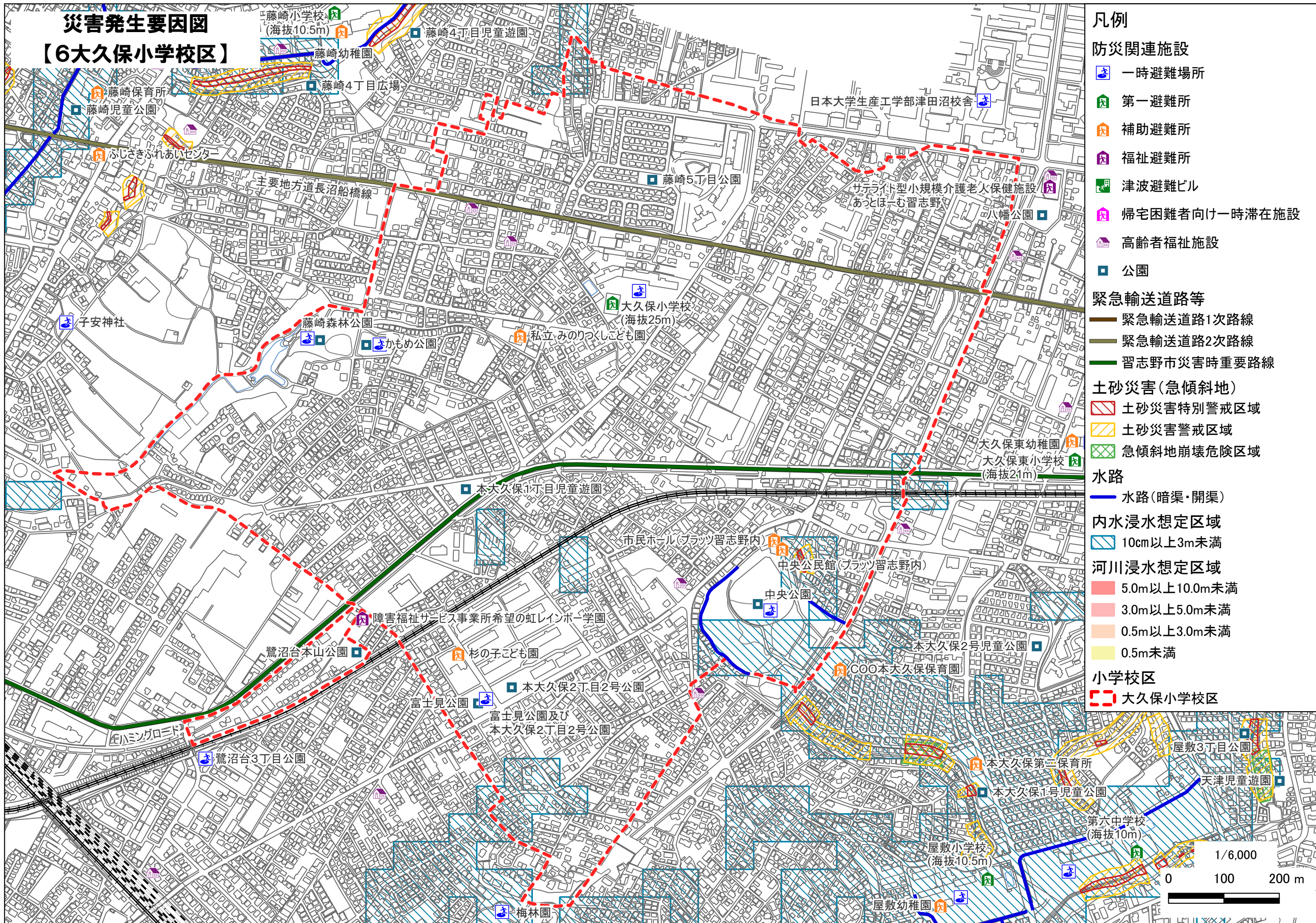
問題点	内容
地震災害	<input type="checkbox"/> 揺れ・液状化による被害 千葉県北西部直下地震（M7.3）が発生した場合、地区のほとんどの区域の揺れが震度6強と予測される。 想定される建物の全半壊率は23.1%である。特に本大久保3丁目には建物が密集しており、予測される建物全半壊率が高くなっている。 <input type="checkbox"/> 火災による被害 予測される建物焼失棟数は270棟である。建物焼失率は6.2%であり、地震火災による被害が懸念される地区である。 地区の北西部は木造建物が密集しており、藤崎5～7丁目では予測される建物焼失率が高くなっている。 <input type="checkbox"/> 避難環境 地区の人口の23.6%にあたる4,028人の避難所生活者の発生が予測される。これに対し地区内の避難所の屋内収容人員は約3,450人であり、収容力が不足している。 また船橋市と隣接しており、災害時には地区内の避難施設に市域を越えて避難してくることが予想され、避難所等の対応に支障をきたす可能性がある。
	<input type="checkbox"/> 河川はん濫 当該地区においては河川はん濫の想定はないため、河川はん濫に対する危険性は低い地区である。
	<input type="checkbox"/> 内水はん濫 内水はん濫により浸水する可能性がある建物棟数は222棟と予測される。 京成大久保駅周辺及び中央公園周辺、本大久保3丁目の南部が主な浸水想定区域である。
風水害 土砂災害	<input type="checkbox"/> 土砂災害 中央公園の北東部が土砂災害特別警戒区域として指定されており、がけ地周辺の住家は大雨・長雨時の土砂災害の影響が懸念される。
	<input type="checkbox"/> 一時避難場所 一時避難場所として、大久保小学校と富士見公園及び本大久保2丁目2号公園、藤崎森林公園、森林公園、かもめ公園が指定されている。
	<input type="checkbox"/> 第一避難所 第一避難所として、大久保小学校が指定されている。 <input type="checkbox"/> 補助避難所 補助避難所として、杉の子こども園、私立みのりつくしこども園、市民ホール（プラッツ習志野内）、中央公民館（プラッツ習志野内）が指定されている。 <input type="checkbox"/> 福祉避難所 福祉避難所として障害福祉サービス事業所希望の虹レインボー学園が指定されている。
防災施設関係	<input type="checkbox"/> 防災倉庫 地区内には防災倉庫が大久保小学校に設置されている。 <input type="checkbox"/> 非常用給水施設 非常用給水施設として自家発電付井戸が本大久保1丁目児童遊園に設置されている。
その他	地区内の避難所収容人数に対して予想される避難者数が多く、避難所が不足する可能性がある。

16. 防災対策の方向性

防災対策の方向性	
既存建築物の耐震性の確保	■家屋の安全対策実施の促進 昭和55年以前の建築物の耐震診断・耐震補強等を促進する施策を積極的に実施する。特に、不特定多数の人が利用する施設、学校、行政関連施設等の応急対策上重要な施設、要配慮者利用施設、病院施設等について、耐震性の確保に配慮する。 また、耐震診断と耐震改修工事等に関する補助金制度や、簡易耐震診断、家具の固定等の安全対策について、住民に周知・啓発する。
液状化対策の推進	■ライフライン施設の強化 地盤の改良や施設の耐震化・液状化対策により、地震・液状化に強いライフラインづくりを推進する。 ■応急対応体制の整備 ライフライン被害に対し、迅速に応急復旧に取りかかれるよう体制を整備する。市民生活を保持できるように、トイレや飲料水等の応急対策について強化・推進する。 ■住民への知識普及・啓発 液状化に関する正しい情報を呼びかけ、住民の防災意識を高揚する。
火災・延焼防止対策の推進	■初期消火についての周知徹底 家庭での初期消火の徹底を図るため、消火器具の設置を促進する。また、住民や地域に対して初期消火に関する知識、技術の普及を図るため、防災訓練を積極的に実施する。 ■危険物施設の安全確保 消防法に定められた危険物取扱施設（貯蔵所・取扱所）の耐震性を確保する。 ■防災空間の整備 延焼拡大を未然に防ぐため、建築物の不燃化を図る。また、火災の延焼防止や一時的な避難場所として重要な役割を担う緑地・都市公園を計画的に整備する。
避難拠点の整備	■避難所・避難場所の確保 災害時における要配慮者や女性の避難生活に配慮し、避難所等への計画的な備蓄や必要な物品の確保など、避難所の生活環境対策を推進する。
避難体制の整備	■帰宅困難者対策 京成大久保駅周辺では帰宅困難者が多数発生することが予測されるため、防災関係機関や駅周辺の民間事業者等と連携し、情報提供等の必要な支援や一時的に滞在する施設への誘導等を行う。 ■防災・減災意識の高揚 り災者を抑制するために住宅の耐震化が重要であることを住民に教育・啓発し、防災・減災意識の高揚を図る。 また、ライフラインの途絶等に備え、家庭での水・食料や簡易トイレ等の備蓄を促進する。
河川はん濫・内水はん濫対策の推進	■住民への知識普及・啓発 河川はん濫・内水はん濫の危険性を事前に把握できるように、ハザードマップ等を活用した知識の普及・啓発を図る。 ■気象情報等の発信体制の強化 大雨等の気象情報、避難情報や警戒レベル等を、状況に応じて有効な伝達方法で、迅速かつ的確に発信できるように体制を検討する。
土砂災害に対する警戒・避難体制の整備	■住民への知識普及・啓発 土砂災害が発生する危険性がある地域住民に対し、土砂災害の危険性を認識し、早めの自主避難が行えるよう知識の普及・啓発を図る。 ■土砂災害に対する警戒・早期避難体制の整備 降雨時の気象情報等を把握し、早期の警戒活動や避難情報を判断する体制を整備する。
その他	■自主防災組織活動の促進 防災活動を行うに当たり、住民が地域ごとに団結し、組織的に行動することによってその効果が最大限に発揮できることから、自主防災組織活動を促進する。

災害発生要因図

【6大久保小学校区】



凡例

防災関連施設

- 一時避難場所
- 第一避難所
- 補助避難所
- 福祉避難所
- 津波避難ビル
- 帰宅困難者向け一時滞在施設
- 高齢者福祉施設
- 公園

緊急輸送道路等

- 緊急輸送道路1次路線
- 緊急輸送道路2次路線
- 習志野市災害時重要路線

土砂災害(急傾斜地)

- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域
- 急傾斜地崩壊危険区域

水路

- 水路(暗渠・開渠)

内水浸水想定区域

- 10cm以上3m未満

河川浸水想定区域

- 5.0m以上10.0m未満
- 3.0m以上5.0m未満
- 0.5m以上3.0m未満
- 0.5m未満

小学校区

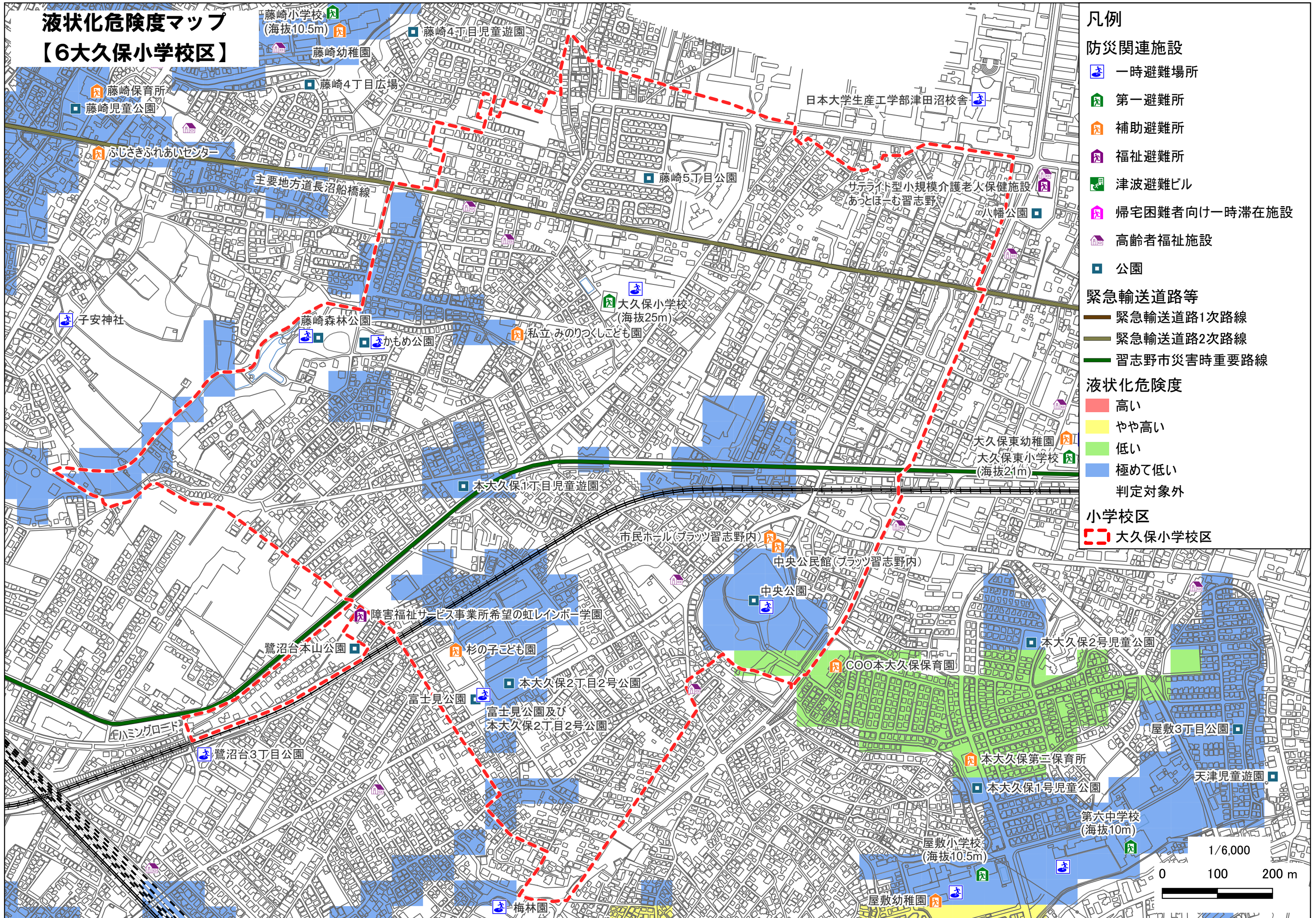
- 大久保小学校区

1/6,000

0 100 200 m






液状化危険度マップ

【6大久保小学校区】






凡例





防災関連施設

-  一時避難場所
-  第一避難所
-  補助避難所
-  福祉避難所
-  津波避難ビル
-  帰宅困難者向け一時滞在施設
-  高齢者福祉施設
-  公園


緊急輸送道路等

-  緊急輸送道路1次路線
-  緊急輸送道路2次路線
-  習志野市災害時重要路線

液状化危険度

-  高い
-  やや高い
-  低い
-  極めて低い
-  判定対象外

小学校区

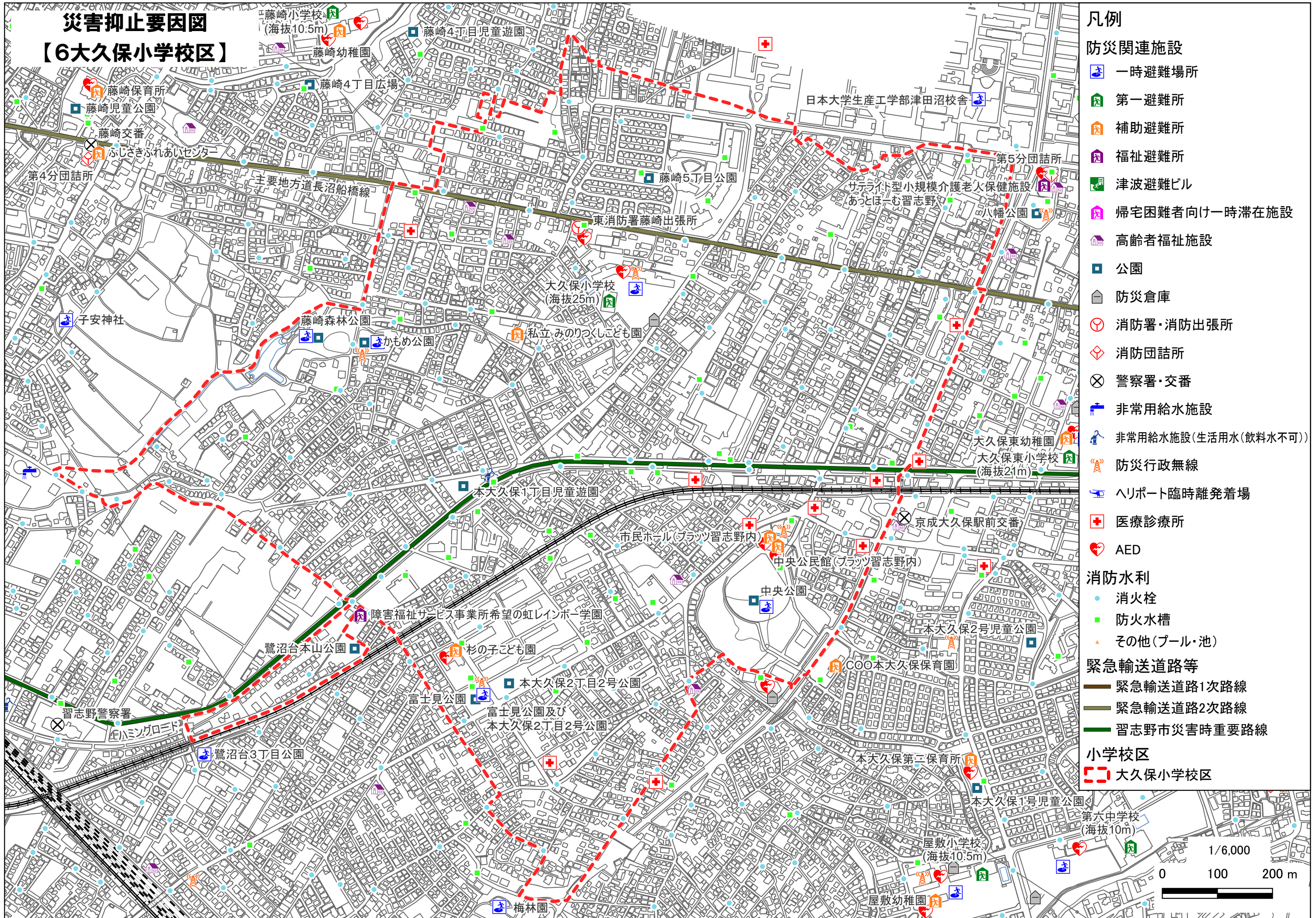
-  大久保小学校区

1/6,000



災害抑止要因図

【6大久保小学校区】



凡例

- 防災関連施設**
 - 一時避難場所
 - 第一避難所
 - 補助避難所
 - 福祉避難所
 - 津波避難ビル
 - 帰宅困難者向け一時滞在施設
 - 高齢者福祉施設
 - 公園
 - 防災倉庫
 - 消防署・消防出張所
 - 消防団詰所
 - 警察署・交番
 - 非常用給水施設
 - 非常用給水施設(生活用水(飲料水不可))
 - 防災行政無線
 - ヘリポート臨時離発着場
 - 医療診療所
 - AED
- 消防水利**
 - 消火栓
 - 防火水槽
 - その他(プール・池)
- 緊急輸送道路等**
 - 緊急輸送道路1次路線
 - 緊急輸送道路2次路線
 - 習志野市災害時重要路線
- 小学校区**
 - 大久保小学校区

